

2014/3期 第2四半期決算説明会

株式
会社 **フォーバル**

2013.11.28







2014/3期 第2四半期連結決算概要

**アイコン事業が順調に拡大
増収・増益/利益率の向上**

財務体質の強化

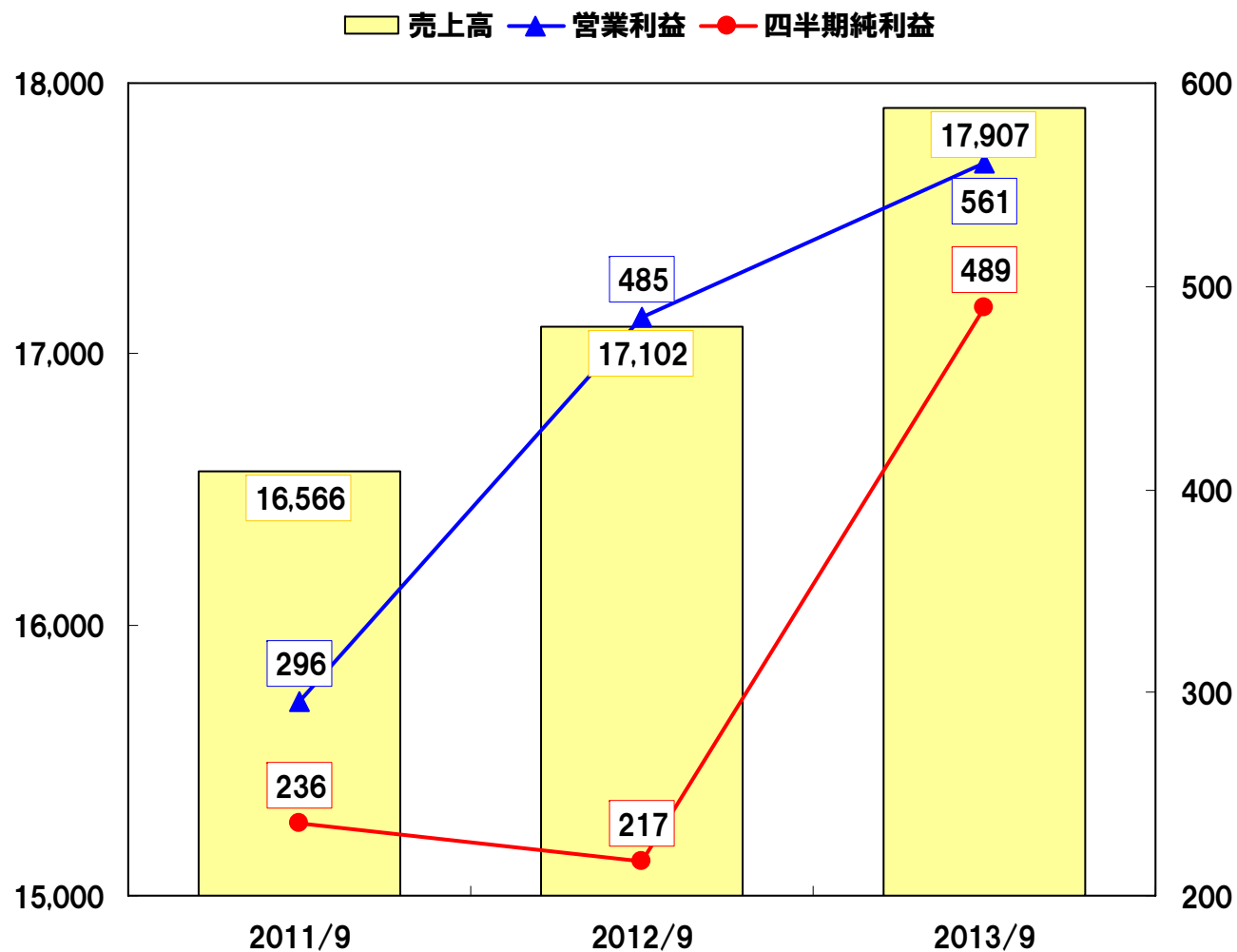
海外事業の基盤拡大

FORVAL 連結決算概要

	2013/9		2012/9		前年同期比		
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率	
売上高	17,907	100.0%	17,102	100.0%	804	4.7%	
売上総利益	5,277	29.5%	5,023	29.4%	254	5.1%	
販管費	4,715	26.3%	4,537	26.5%	177	3.9%	
営業利益	561	3.1%	485	2.8%	76	15.7%	
経常利益	565	3.2%	525	3.1%	39	7.6%	
特別利益	164	0.9%	4	0.0%	160	—	
四半期純利益	489	2.7%	217	1.3%	271	124.5%	

単位:100万円

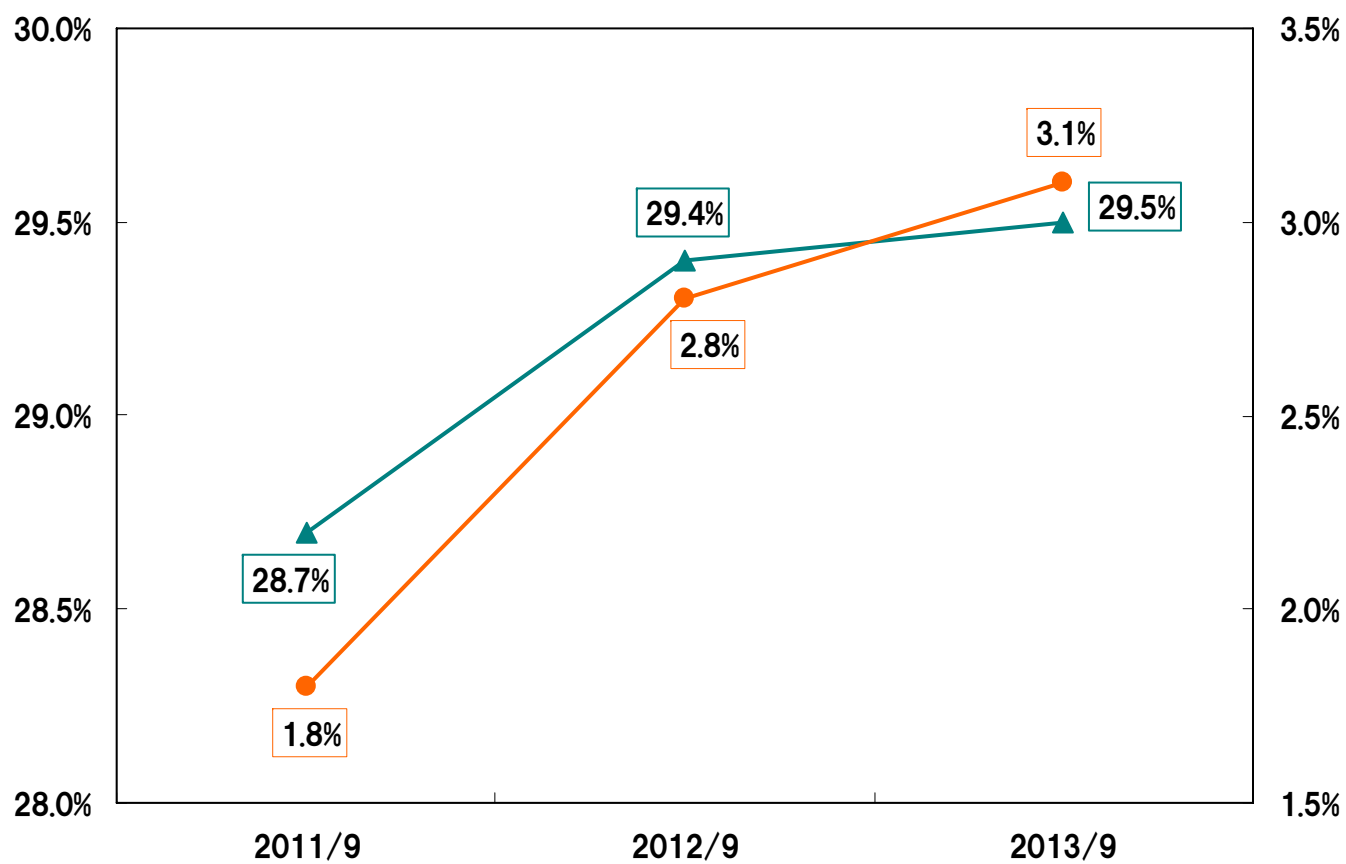
増収・増益



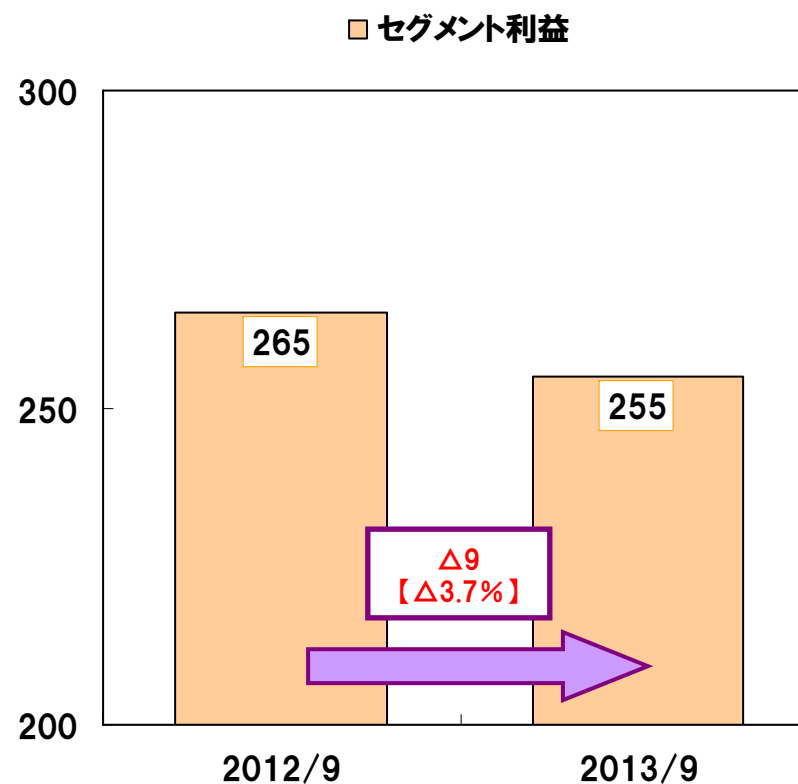
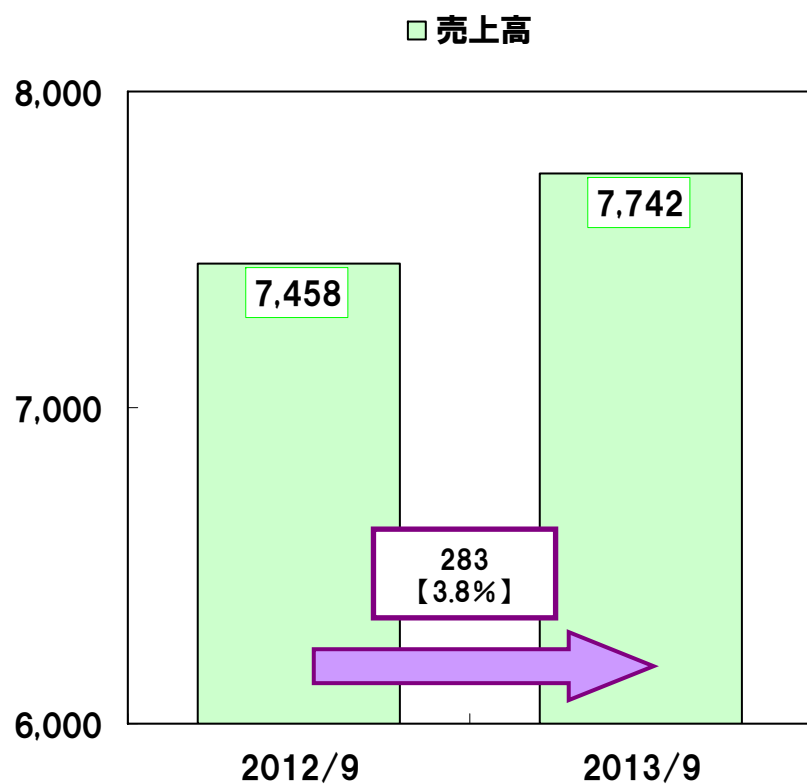
単位: 100万円

利益率の向上

▲ 売上総利益率 ● 営業利益率



フォーバルビジネスグループ

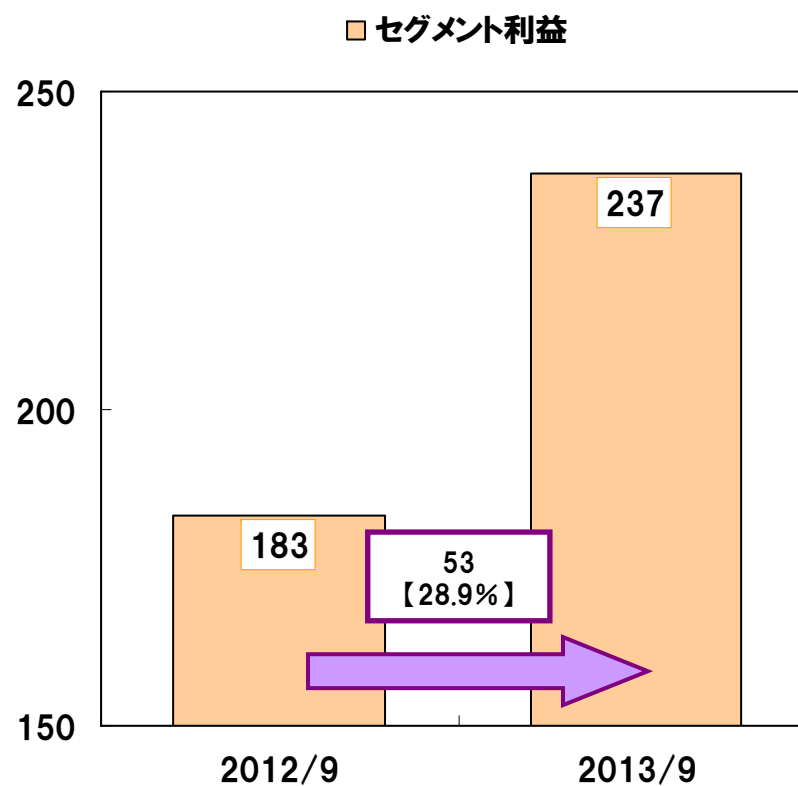
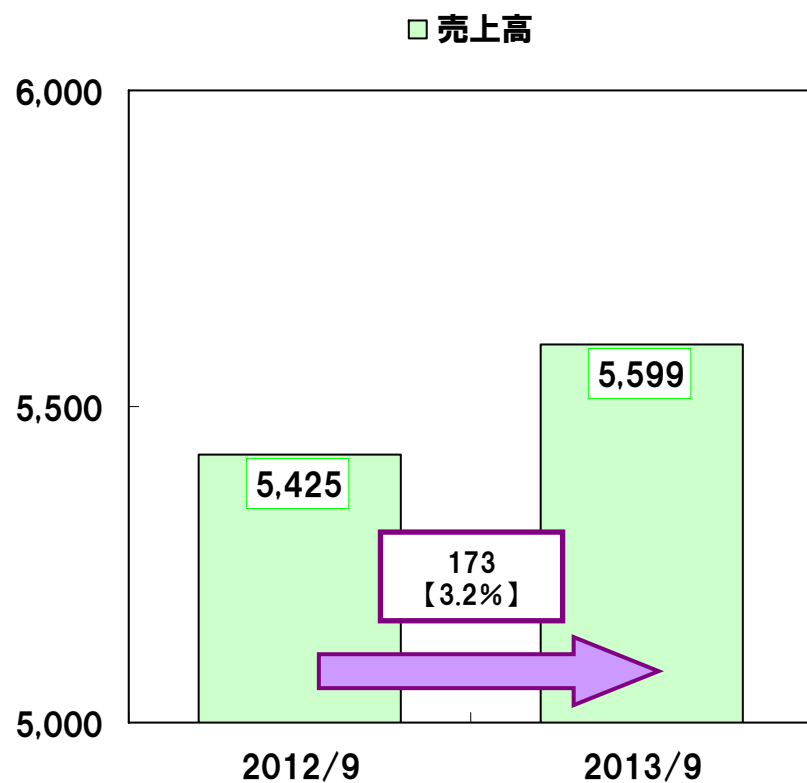


単位:100万円

**アイコン事業の拡大と
それに伴うビジネスチャンスの拡大**

事業拡大に伴う人員増の影響

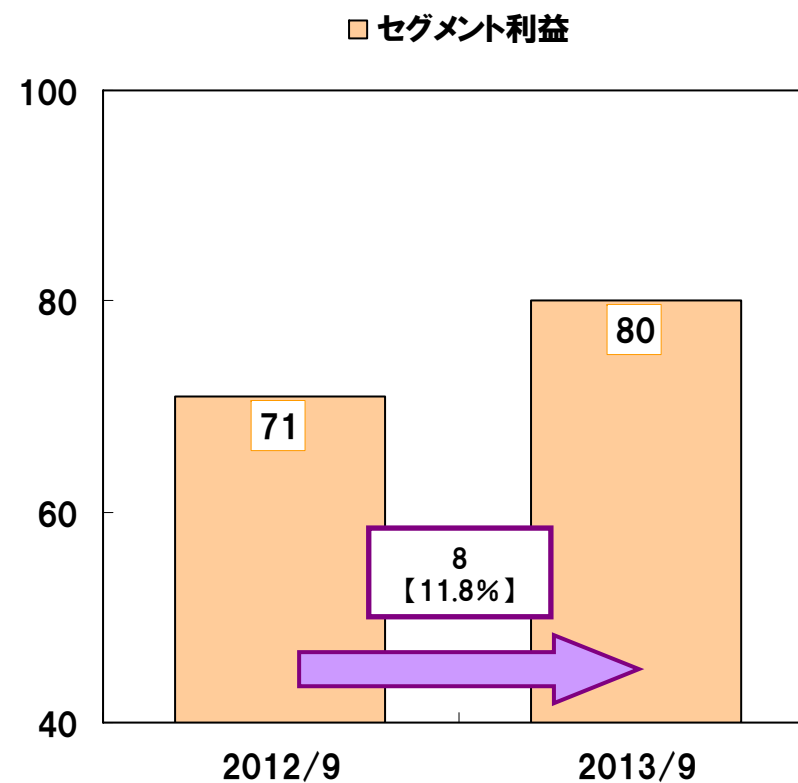
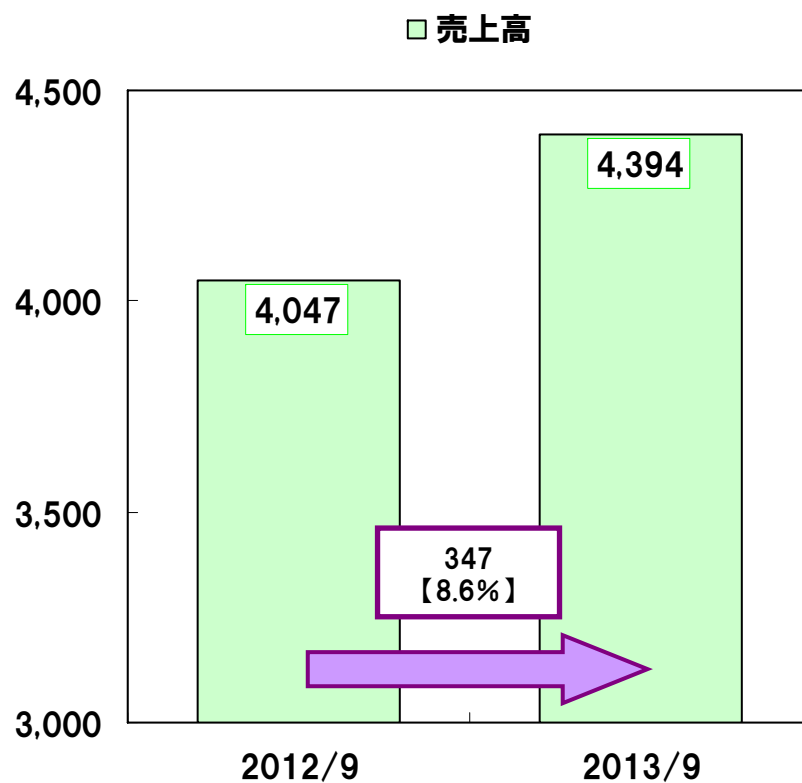
フォーバルテレコムビジネスグループ



単位:100万円

保険関連、商業印刷物の企画等の事業が好調

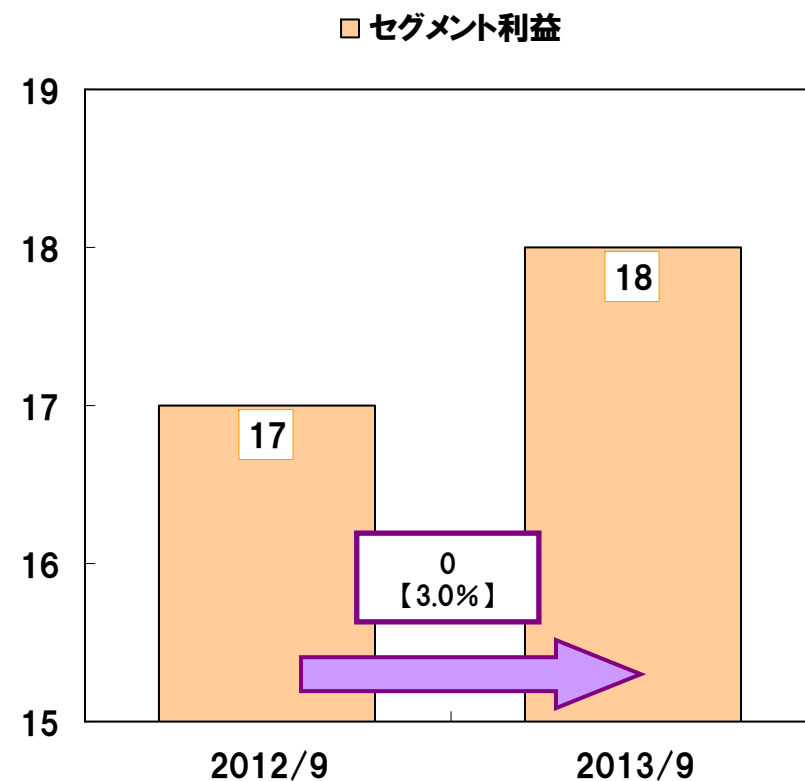
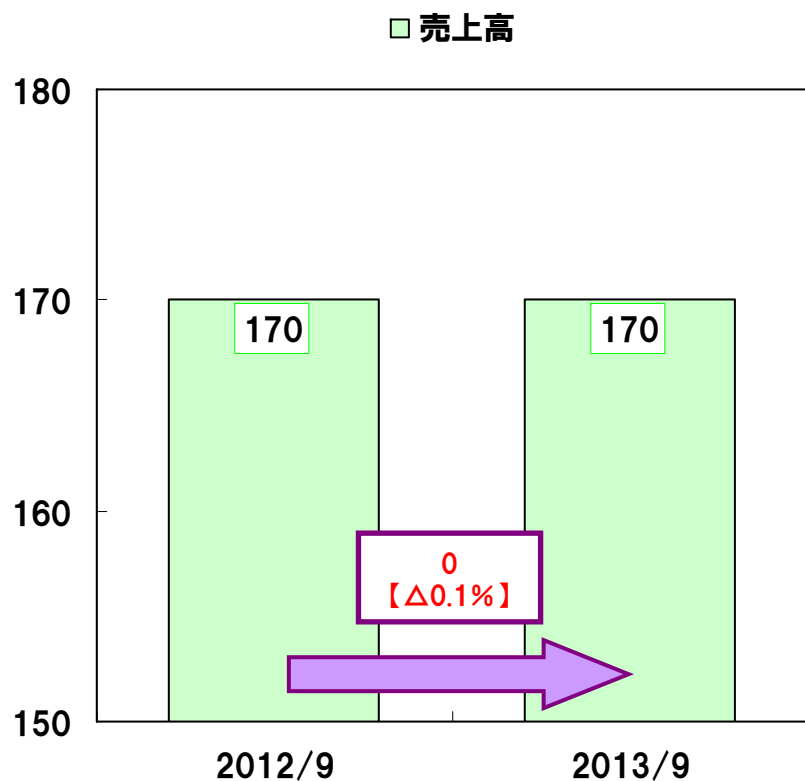
モバイルショップビジネスグループ



単位:100万円

携帯電話の新規販売台数が増加

その他事業グループ



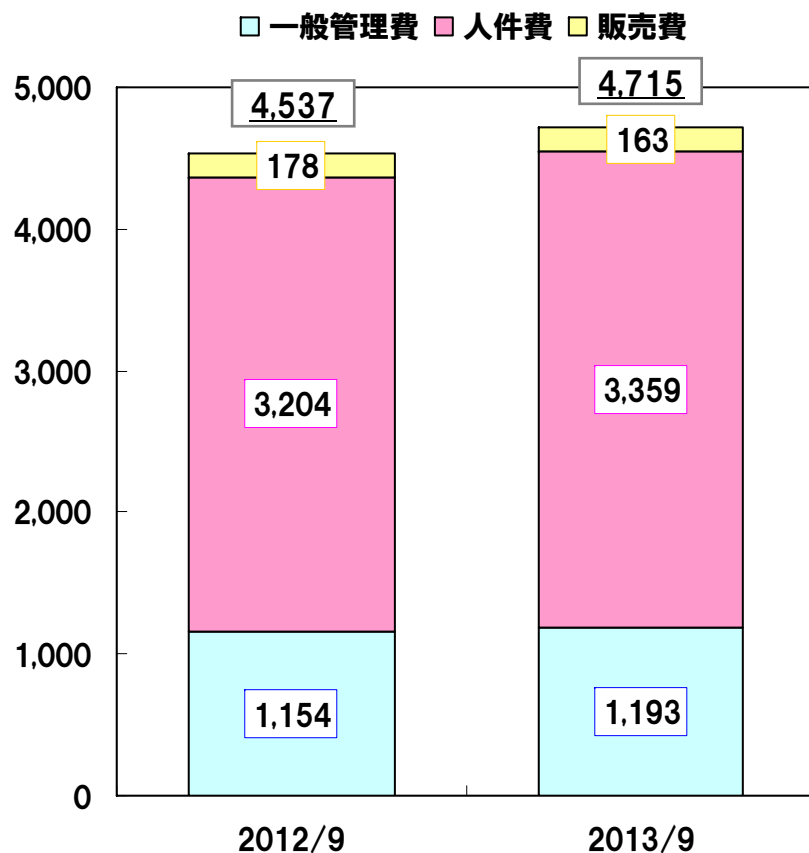
**人材関連サービスが順調に推移するも
それ以外の事業を整理**

単位:100万円

人材関連サービスが寄与

前年同期比3.9%増加

売上総利益
5.1%増



販売費

前年同期比 $\Delta 15$ 【 $\Delta 8.6\%$ 】

人件費

前年同期比 154【4.8%】

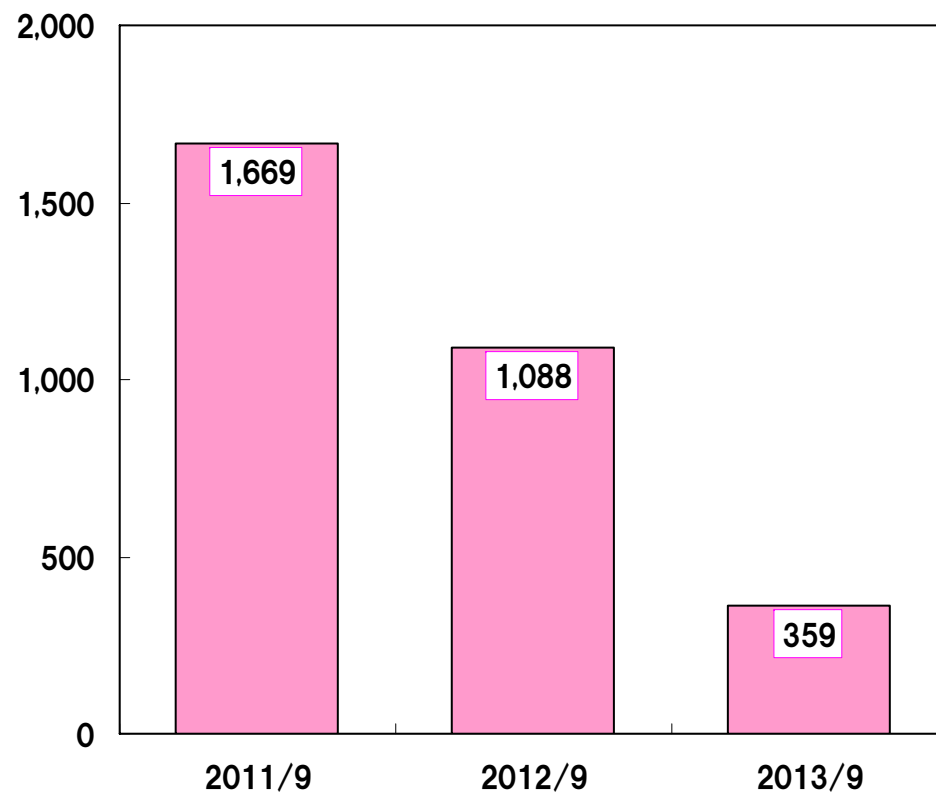
一般管理費

前年同期比 39【3.4%】

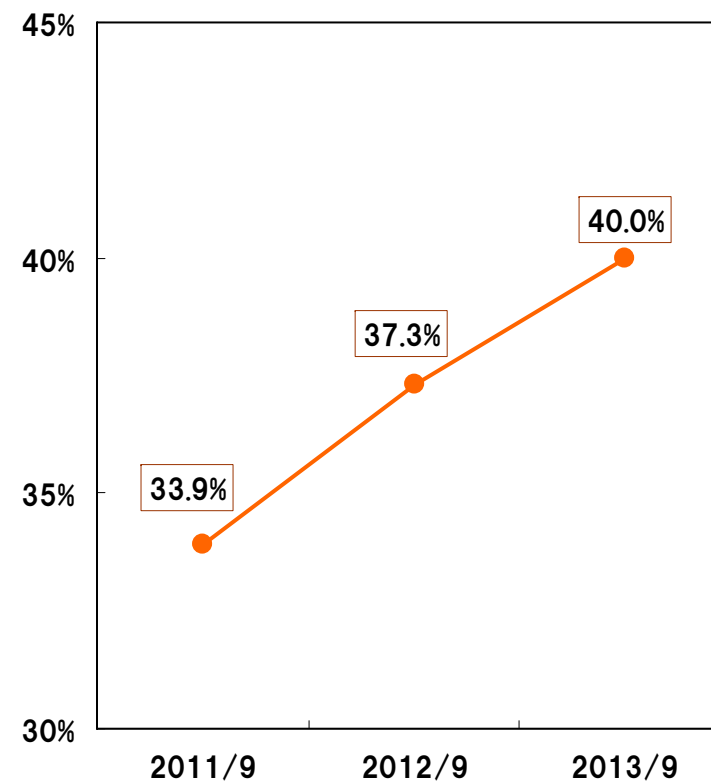
営業利益
15.7%増

単位: 100万円

有利子負債



自己資本比率



単位: 100万円

2014/3期連結業績見通し

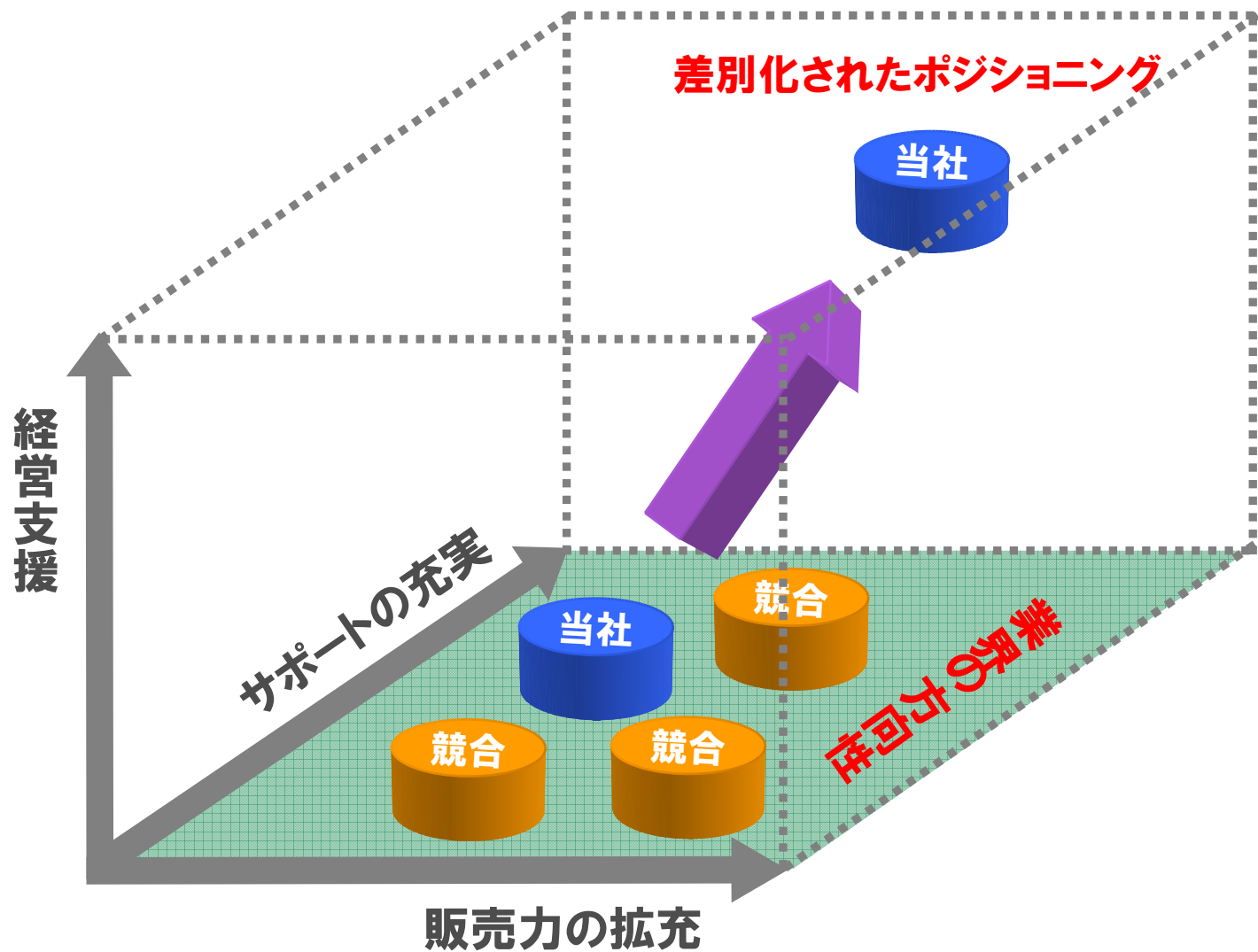
FORVAL 2014/3期連結業績見通し

	2014/3期予想			2013/3期	
	予想	売上比	前期比	実績	売上比
売上高	36,000	100.0%	806 【2.3%】	35,193	100.0%
営業利益	1,370	3.8%	205 【17.6%】	1,164	3.3%
経常利益	1,400	3.9%	183 【15.1%】	1,216	3.5%
当期純利益	940	2.6%	159 【20.5%】	780	2.2%

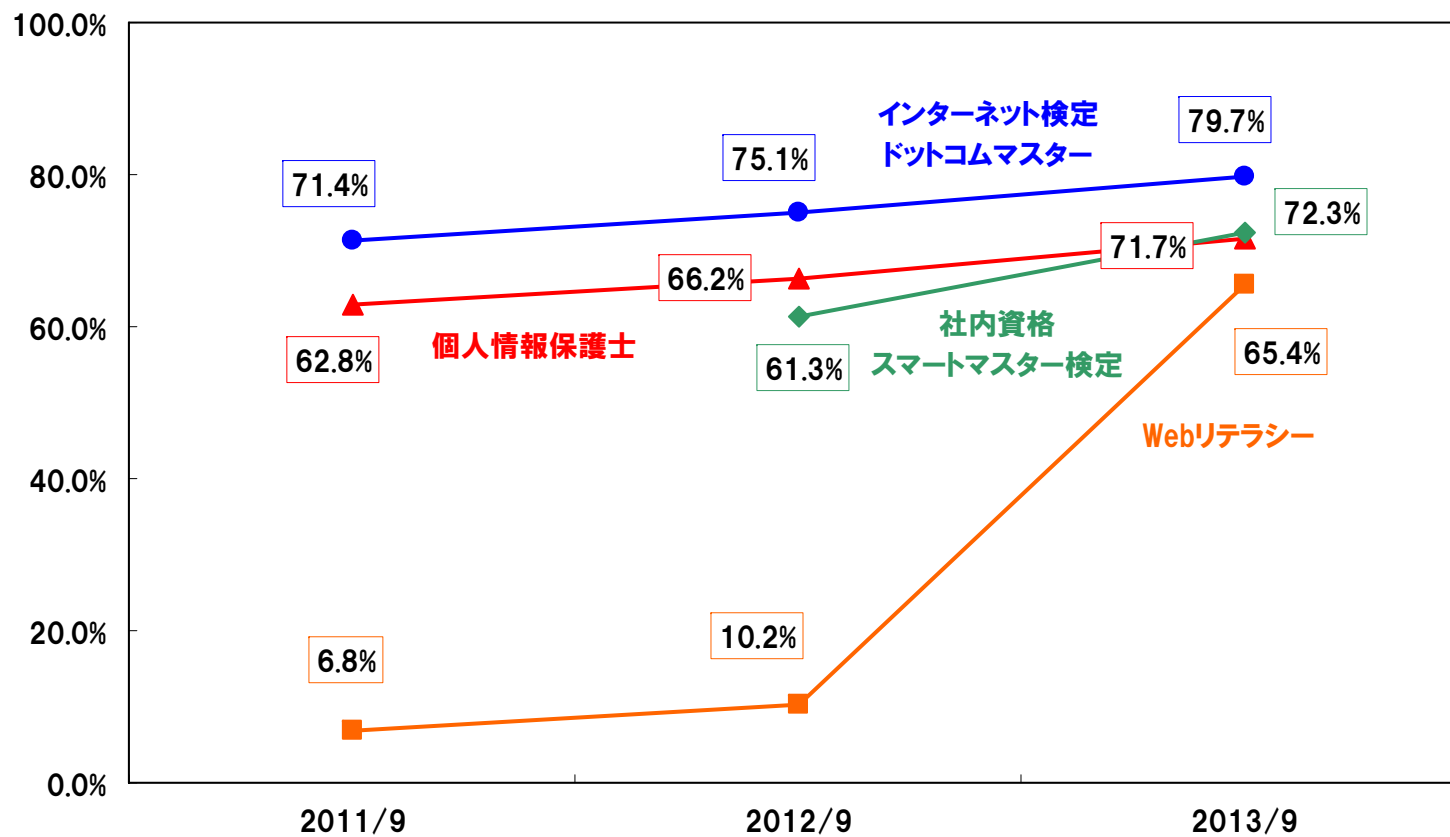
単位:100万円

フォーバルグループの成長戦略

『情報通信コンサルタント』として
企業経営を支援する集団となり、
中小・中堅企業の利益に貢献する！



資格取得率推移



差別化された経営支援の二大テーマ

情報通信の知識・技術を駆使した 経営コンサル



フォーバル icon サービス。

icon

「アイコンサービス」とはストック型の定期訪問付き経営支援サービス

- よろず経営相談
 - 情報通信コンサル
 - WEBコンサル
 - 経営コンサル
 - パソコン遠隔サポート
 - パソコンログサポート
 - サーバー運用サポート
 - パソコン・サーバーの遠隔監視
 - WEB運営助言・更新サポート
 - 電話機、ネットワークの保守・障害対応
 - 複写機・複合機のメンテナンス
- etc.

アイコンサービスの更なる拡大のためOEMによるネットワーク作りに注力

BRMC

Business **R**estructuring & **M**anagement **C**onsulting

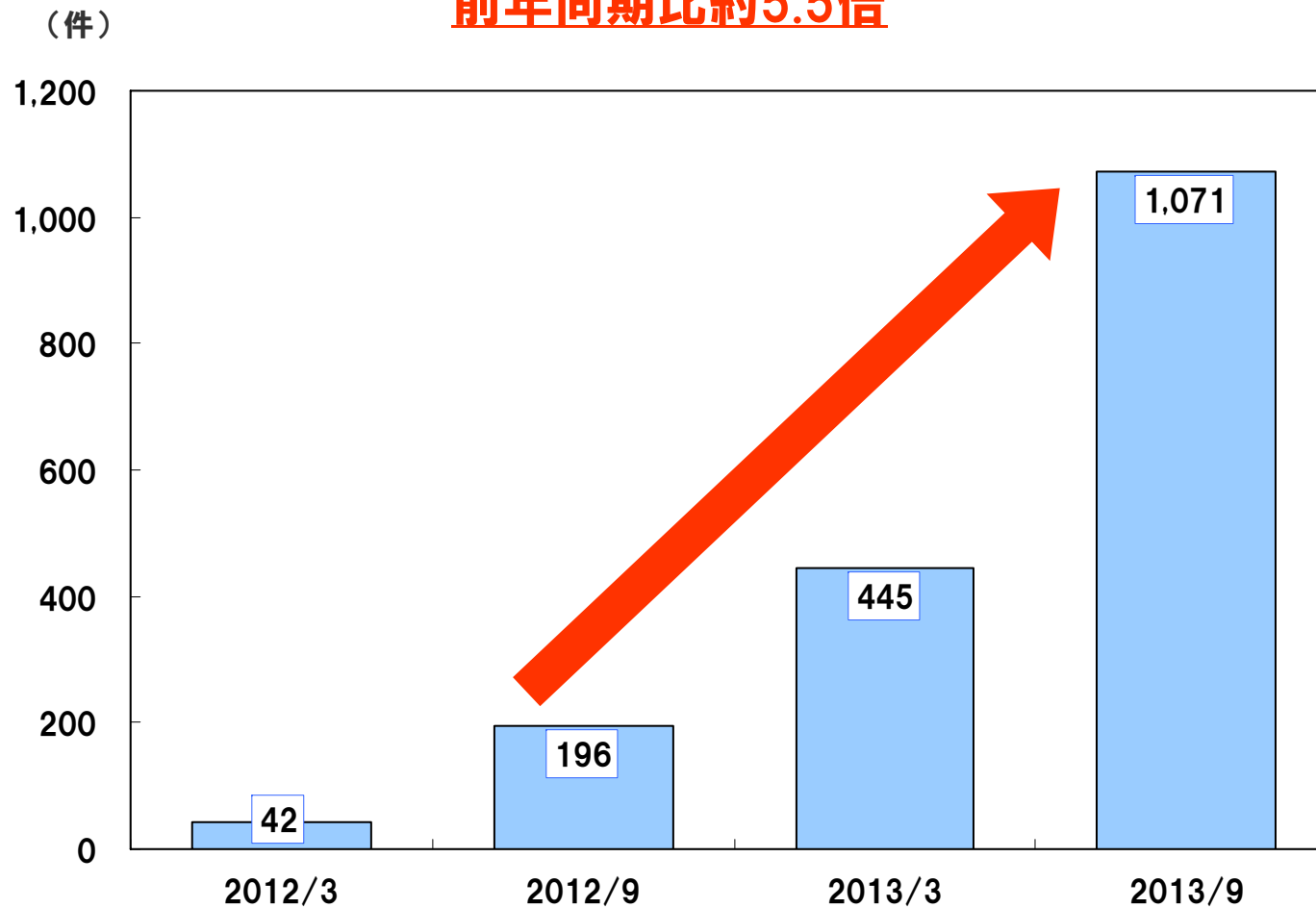
差別化された
新しいビジネスモデルの
ノウハウ自体を提供



パートナーの拡大
&
アイコンサービスの拡大

パートナーへの浸透

前年同期比約5.5倍



アイコンサービスに
足りないコンテンツ

&

顧客

M & Aを活用

iTEC

株式会社アイテック

情報処理技術者試験対策を中心としたIT教育サービスを提供

採用団体
約8,000社

総受講者数(推計)
約90万人

独自の海外進出ノウハウによる 経営コンサル



トータルサポート

stage

進出後



stage

進出前



OA・NW
ITサポート

■ OA・NWのIT環境サポート

バック
オフィス
業務支援

■ 会社規定作成支援
■ 経理・総務等業務支援
■ セールスプロモーション支援

人材採用
支援

■ 現地スタッフ採用支援
■ 現地スタッフ教育支援

現地法人
設立支援

■ 工場用地・オフィス・駐在員住居選定支援
■ 法人登記・各種ライセンス申請登録支援
■ 内装・什器・OA・NW環境構築支援

海外進出
FS支援

■ 現地視察ツアー同行
■ FS調査・マーケティングリサーチ
■ レンタルオフィス提供

情報提供

■ セミナー
■ 紙面 & WEBの活用



行政機関

地方公共団体(埼玉県・長崎県)

- ～サポートデスクの運営を受託～
- ・埼玉県アセアンビジネスサポートデスク
 - ・**長崎県東南アジアビジネスサポートデスク**

JETRO 日本貿易振興機構 (ジェトロ)

中堅・中小・小規模事業者新興国進出支援
専門家として選出される

JICA 独立行政法人 国際協力機構

- ・**中小企業連携促進調査**(平成24年2月13日公示)
平成24年度は全部で11案件のうち、当社は2件採択される
- ・**協力準備調査**(平成24年11月16日公示)
中小企業向けレンタル工事事業準備調査が採択される

東京商工会議所
The Tokyo Chamber of Commerce and Industry

中小企業国際展開アドバイザー

金融機関

地方銀行 4行と業務提携

- ・百十四銀行 (香川県高松市)
 - ・大分銀行 (大分県大分市)
 - ・**佐賀銀行 (佐賀県佐賀市)**
- その他1行

信用金庫 6庫と業務提携

- ・岡崎信用金庫 (愛知県岡崎市)
 - ・浜松信用金庫 (静岡県浜松市)
 - ・岐阜信用金庫 (岐阜県岐阜市)
 - ・瀬戸信用金庫 (愛知県瀬戸市)
 - ・**京都信用金庫 (京都府京都市)**
- その他1庫

ASEAN諸国への進出を検討している金融機関の取引先に専門的な海外進出コンサルを実行

カンボジア

カンボジア労働訓練省

2012年3月
人材採用支援

- ・CIESF(シーセフ)は、職業訓練校に対して「育成カリキュラム」や「教師派遣」を実施
- ・フォーバルは、卒業生を進出日系企業に対し人材として紹介

国家警察

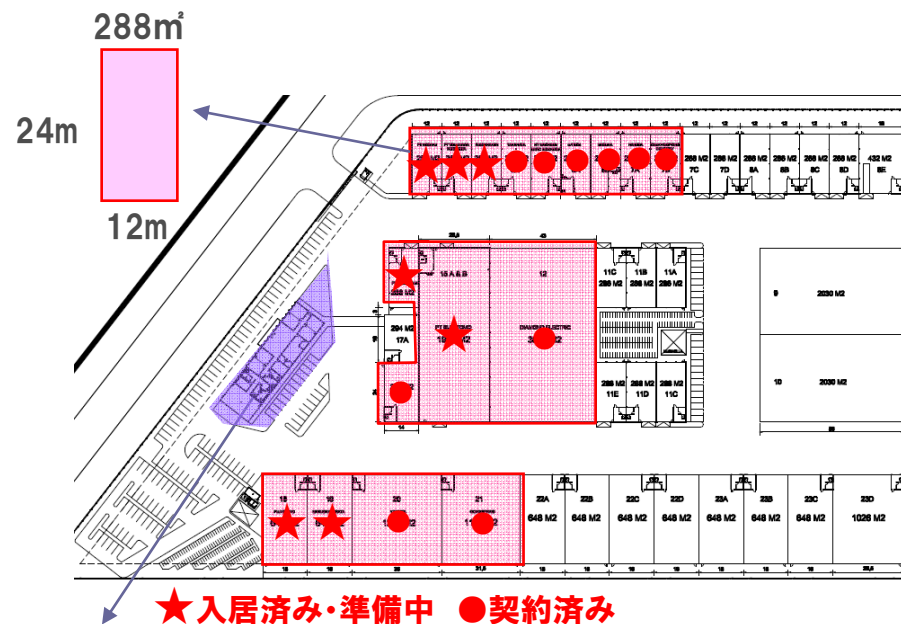
2012年12月
サクサ株式会社とセキュリティ情報提供企業へ
出資(E SECURITY SERVICES CO., LTD.)
国家警察と連携したシステムを構築

インドネシア

JSCインドネシア Japanese SME's Center

デルタシリコン工業団地内 ジャカルタ東部

- ・288㎡から入居可能
- ・24時間有人監視
- ・インドネシア最高峰のタウンシップ開発
- ・日本食店舗10件以上
- ・管理棟にはモスクを完備



管理棟

★入居済み・準備中 ●契約済み
 ・敷地 53,210㎡
 ・建屋面積 26,496㎡

ベトナム

ベトナム外国投資庁(FIA) 計画投資省 傘下

- 2012年5月
日系中小企業の積極誘致に向けた相互協力
- 2013年2月
日系中小企業の誘致促進策として
“3か年アクションプラン”を作成しスタート

バリア・ブンタウ省 商工局

- 2012年6月
日系中小企業の積極誘致に向けた相互協力
- 2012年9月
バリア・ブンタウ省進出支援日本事務所の運營業務を受託

ベトナム商工会議所

- 2012年9月
ベトナム商工会議所ベトナム中小企業促進センターと
ベトナムにおける裾野産業発展のために協力すること
で合意

ハノイ市

- 2013年7月
ハノイ・アーバン・ソフトウェア・テクノロジープロジェクトに
関し相互協力
- 2013年9月
ハノイ市計画投資局と、日系企業のハノイ市への投資を
促進することを目的に“Japan Desk”の設置を支援する
ことで合意

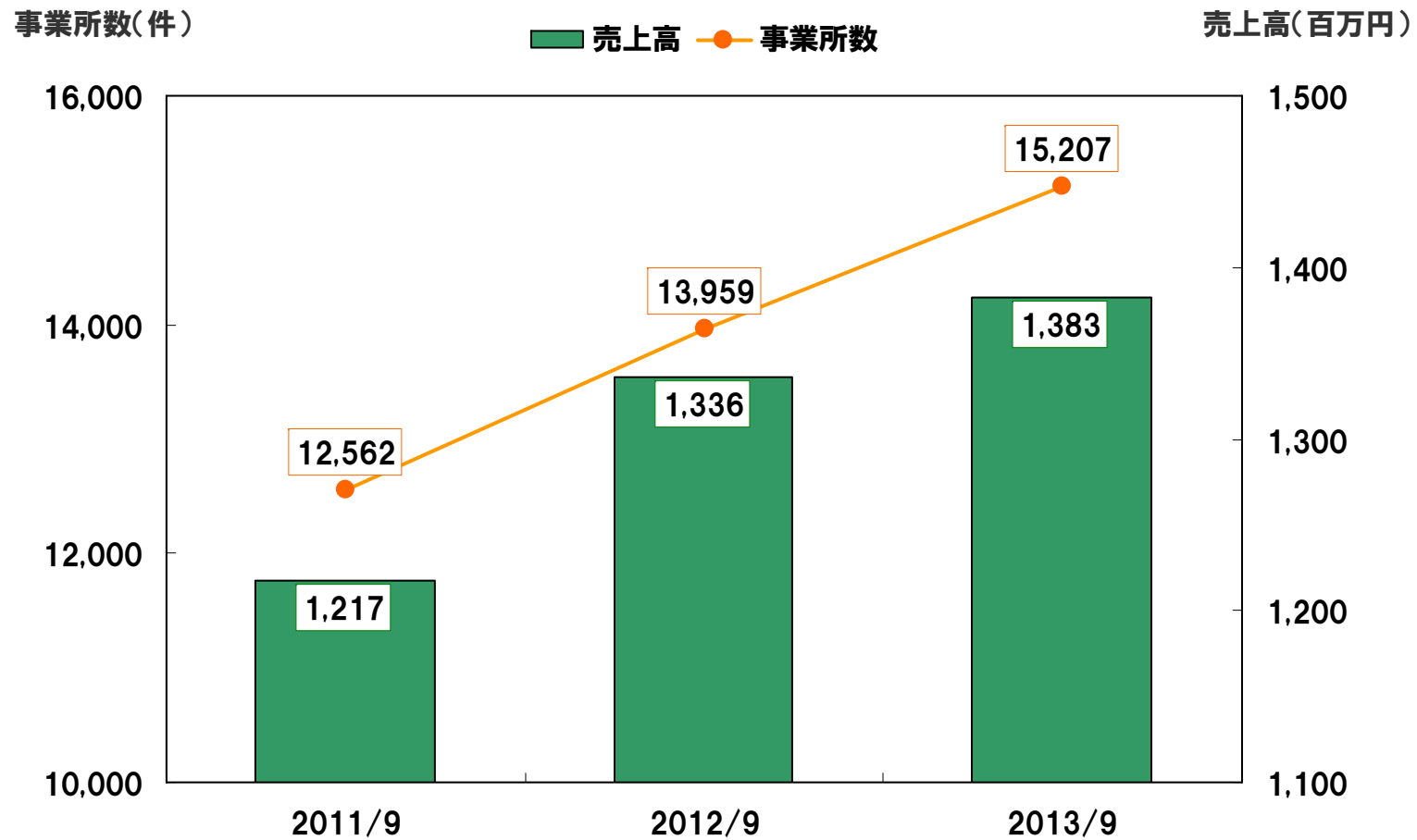
ミャンマー

ヤンゴン管区工業団地開発委員会・ミャンマー工業会

- 2012年10月
ヤンゴン管区工業団地・ビジネス開発センター
の設立に協力することで合意

- ・27カ所の工業団地をデータベース化
- ・5段階評価の格付けを実施
- ・工業団地の質の向上を促進
- ・日系企業の進出判断

順調に拡大



将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提(仮定)等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。